



未来を夢見て

2020/6/12 No. 16

校旗はためく下に 令和2年度初の一斉登校

～小野小学校の伝統を受け継ぎ・磨き・繋ぐことを目指して 6月15日 開校記念日～

6月12日(金)。6月2日からの分散登校期間を経て今日から一斉登校が始まりました。朝はもう声掛けしなくとも、ソーシャルディスタンスを意識して整然と並んでいます。そして今日から外遊びも解禁になり、子供たちの歓声から、やっぱりこの時間を楽しみにしていたことが伝わってきます。今は授業時間をやや短くしても、手洗いの習慣化を図ったり、チャイムが鳴らない生活に慣れたりする期間です。チャイムが鳴らない生活の初日、校庭から慌てて戻ろうとする子供たちへの「慌てなくていいんだよ」と優しい先生の声に、私も子供になった気分で癒やされました。

今週は6月とは思えない暑さが続きました。校庭では、久しぶりに運動着に着替えて、元気に体育の授業に取り組む子供たちの姿が見られるようになりました。私もそうだったように、体育の時間を楽しみしている子供たちはきっと今も多いはずです。

初任の頃、「**体育の授業は絶対なくさないこと!**」と先輩から教えられたことが今も忘れられません。

写真は5年3組、青砥先生の学級です。さすがに高学年だけあって、きびきびとした動きです。ただ、大変なのは先生で、分散登校なので、青砥先生は、また午後に体育を指導することになりました。子供たちにとっては、1回の体育の授業ですが、ここが分散登校のつらいところ。でも、やっぱり体育はなくてはならない気持ちはよくわかります(他にも2時間ご指導いただいた先生方ありがとうございました)。

さて、6月15日は本校の「開校記念日」です。

開校記念日にあたって、放送でお話をしてください、との依頼があり、早速、小野小学校の歴史について紐ときました。本校の歴史は古く、宮床小学校支校として「當壽院」に開校されたのが明治6年(学制発布)。その後、昭和30年に宮床小学校小野分校と改称され、平成3年3月に閉校(その間117年)されました。

現在の場所に小野小学校として開校したのが平成3年4月1日。初代校長は氏家正好先生、そして教頭先生は五十嵐楯夫先生、お二人とも附属小のOBの先生で不思議なご縁を感じました。開校当時の全校児童は161名。開校式は4月6日に行われ、そのときに現在も受け継がれている「強く、賢く、明るい子供」という育てたい子供像、そして卒業生が作成した校旗の図案が示されました。その後、平成4年2月26日に校歌の制定発表が行われました。

さらに沿革史を調べると、**平成4年6月15日「開校記念日制定」**と見つけることができました。ところでなぜ6月15日に決まったのでしょうか。唯一の手がかりは、平成3年の6月15日に大和町主催で「小野小学校新校舎並びに屋内運動場落成式」が挙行されていることです。ちなみに、開校当時の教職員名簿には4年生担任に安達先生のお名前を見つけることができました。小野小学校には安達先生以外にも2度目の勤務の先生方が数名いて、そういった昔の小野小学校を知る先生方が多いことも「小野小学校を大切にしたい気持ち(母校愛)」につながり、無形の力となって、現在の小野小学校の学校文化を支えていることを感じました。

15日(月)からは給食も開始されます。小野小学校の長い伝統を大切にすると同時に、新たな生活を始めるには、とても相応しい開校記念日となりそうです。

参考文献:『学校沿革史』 『先人の祈り』 小野地区の史跡』大和町小野地区歴史保存会

『未来を夢見て』大和町立小野小学校開校10周年記念事業実行委員会

『小野分校閉校記念誌 おもいで 小野っ子117年のあゆみ』

(文責:手代木)

